

番号	13	令和4年度公共事業再評価調書					担当課名 河川海岸整備課
事業名	河川改修事業			事業主体	静岡県		
箇所名	にきゅうかせん 二級河川 黒石川 くろいしがわ			関係市町	焼津市		
事業採択年度	平成 24 年度		計画期間	平成22年度 ~令和19年度			
用地着手年度	平成 24 年度		工事着手年度	平成 25 年度			
再評価理由※	再評価実施(H29)後5年間が経過した時点で継続中						
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	~R2年度	R3年度	R4年度見込	計	
	6,348		1,771	17	85	1,873	
事業概要	<p>(1)事業目的 河床掘削と護岸整備などの河川改修により、昭和57年9月洪水と同規模(概ね5年に1度)の洪水が発生しても、浸水被害を生じさせず洪水を安全に流下させ、焼津市密集市街地区の浸水被害解消を図る。</p> <p>(2)事業内容 ・延長 3.25km(河床掘削、護岸整備)、橋梁11橋、取水堰4基、樋門・樋管22基、ポンプ施設1基</p>						
【視点1】	<p>(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <p>黒石川流域では、幹線道路整備やJR焼津駅周辺の開発、土地区画整理事業の実施により前回評価時から人口・世帯数が増加しており流域内の高度化が進んでいる。また、低平地区部の排水不良や支川の氾濫による内水被害が生じており、平成16年6月洪水では床上浸水4戸、床下浸水21戸の被害を被った。</p> <p>(2)事業の投資効果</p> <p>○現時点(R4)の分析結果: B/C=60.3、経済的内部収益率(EIRR) = 292.14%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総便益(B) 203,750百万円 (被害軽減便益 203,585百万円、施設の残存価値 165百万円)</li> <li>・総費用(C) 3,377百万円 (建設投資額 3,016百万円、維持管理費 361百万円)</li> </ul> <p>○見込まれる効果(定性的な効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年に1回程度発生すると想定される規模の降雨による洪水浸水被害の解消</li> </ul> <p>(3)事業の進捗状況</p> <p>【事業費】 29.5%(1,873百万円/6,348百万円) 【用地費】 12.5%(194百万円/1554百万円) 【事業量】 8.4%(274m/3,250m)</p> <p>河口から護岸整備を進めており、右岸側はL=304m、左岸側はL=274mが完了している。また、河川改修としての用地取得は、右岸側会下ノ島石津土地区画整理区間において、土地区画整理事業と連携して用地の確保を進めていく。</p>						
事業の必要性等	<p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>						
【視点2】	<p>土地区画整理事業と連携した用地の確保により、今後順調な進捗が見込め、地元住民の工事に対する期待は大きく、令和19年度までの完了が見込まれる。</p>						
今後の事業の進捗の見込み	<p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>						
【視点3】	<p>(コスト縮減について) 掘削による発生土を他河川の盛土材や海岸における津波対策の防潮堤整備などに流用して残土の有効活用を図るなど、他事業と連携してコスト縮減を図っており、今後も引き続き継続していく。</p>						
新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性							
対応方針(案)	<p>(1)対応方針(案) 本事業を( <input checked="" type="radio"/> 継続 ) ・ 見直し後継続 ・ 中止 ) する。</p> <p>(2)理由</p> <p>本事業は、黒石川流域の治水安全度を向上させ、浸水被害の解消を図るものである。近年、激甚化・頻発化する豪雨を受け、栃山川水系では過去に浸水被害が発生していることから地元自治体の治水安全度向上への期待が大きく、事業の投資効果も見込まれ、道路管理者との調整が順調など、今後の事業の進捗が見込めることから事業を継続する。</p>						

費用便益比算出説明書

二級河川黒石川

(「治水経済調査マニュアル(案)」国土交通省 水管理・国土保全局 令和2年4月)

総括表

総便益 B	[治水事業を実施しない場合の被害額]－[治水事業を実施した場合の被害額] +[施設の残存価値]	203,750百万円
総費用 C	[建設費]+[評価期間内に必要な維持管理費]	3,377百万円
B / C		60.33

総便益

○治水事業の有無による被害額の差分  
年平均被害軽減期待額を社会的割引率4%、評価対象期間65年(整備期間15年+50年)とし、  
現在価値化する。

○施設等の残存価値  
評価期間末における施設等の残存価値を社会的割引率4%で現在価値化する。

総便益  

$$B = \Sigma \text{年平均被害軽減期待額} / (1+0.04)^n + \text{評価期間末残存価値} / (1+0.04)^n$$

$$= 203,585 \text{百万円} + 165 \text{百万円}$$

$$= 203,750 \text{百万円}$$

※ 被害額は洪水による家屋、事業所、農作物、公共土木施設などの被害額と営業停止損失、家庭・事業所における応急対策費用である。  
 ※ 年平均被害軽減期待額は洪水の生起確率を生起確率別被害軽減額に乘じ、計画対象規模まで累計することにより算出する。  
 ※ 整備期間中の便益は、事業費に比例して発生するものとする。

総費用

○事業建設費  
各年の事業建設費を社会的割引率4%で現在価値化する。

○評価期間内に必要な維持管理費  
各年の維持管理費を社会的割引率4%で現在価値化する。  
建設費の0.5%/年、評価対象期間:65年

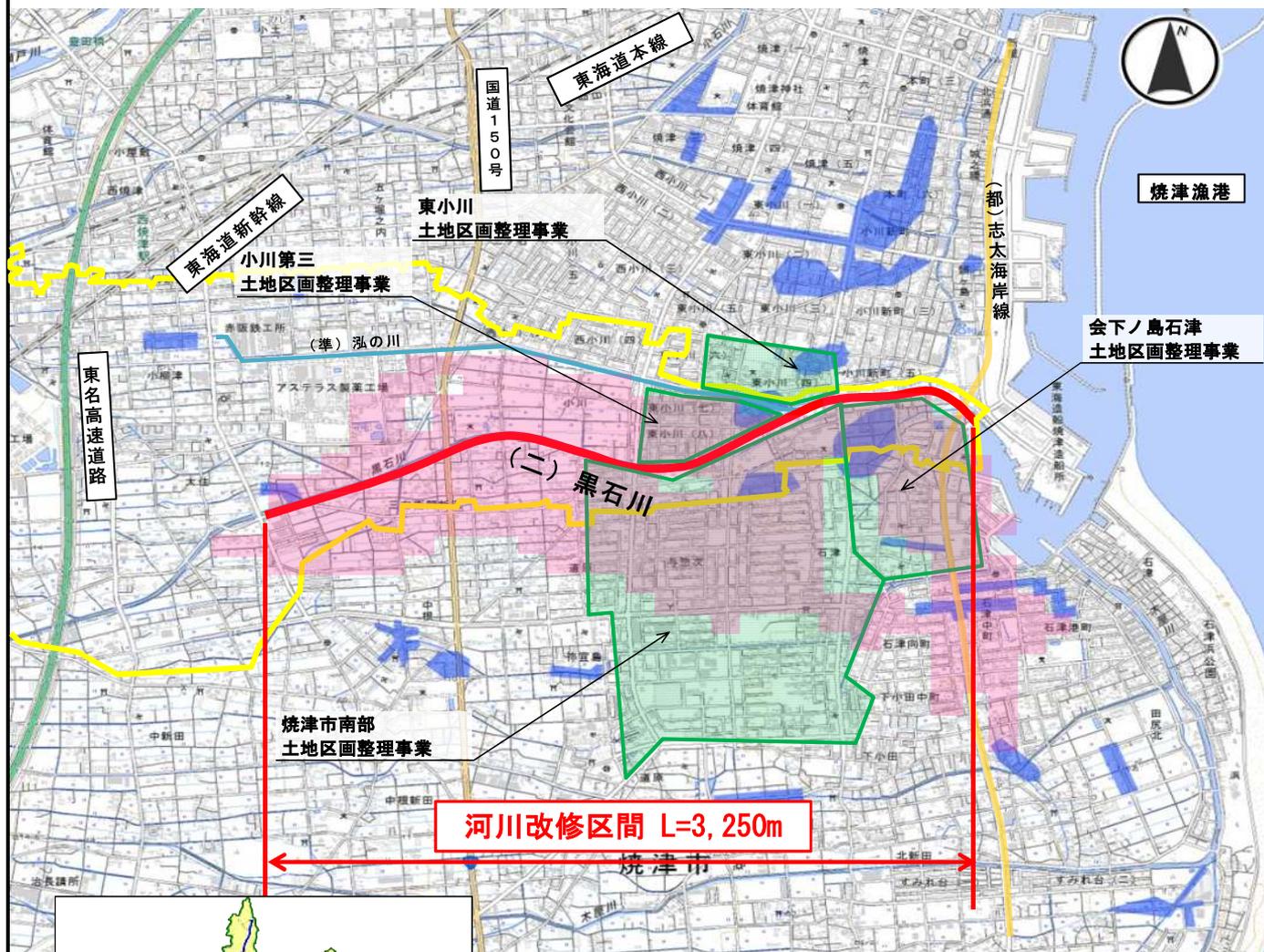
総費用  

$$C = \Sigma \text{各年事業建設費} / (1+0.04)^n + \Sigma \text{年間維持管理費} / (1+0.04)^n$$

$$= 3,016 \text{百万円} + 361 \text{百万円}$$

$$= 3,377 \text{百万円}$$

# 黒石川 位置図



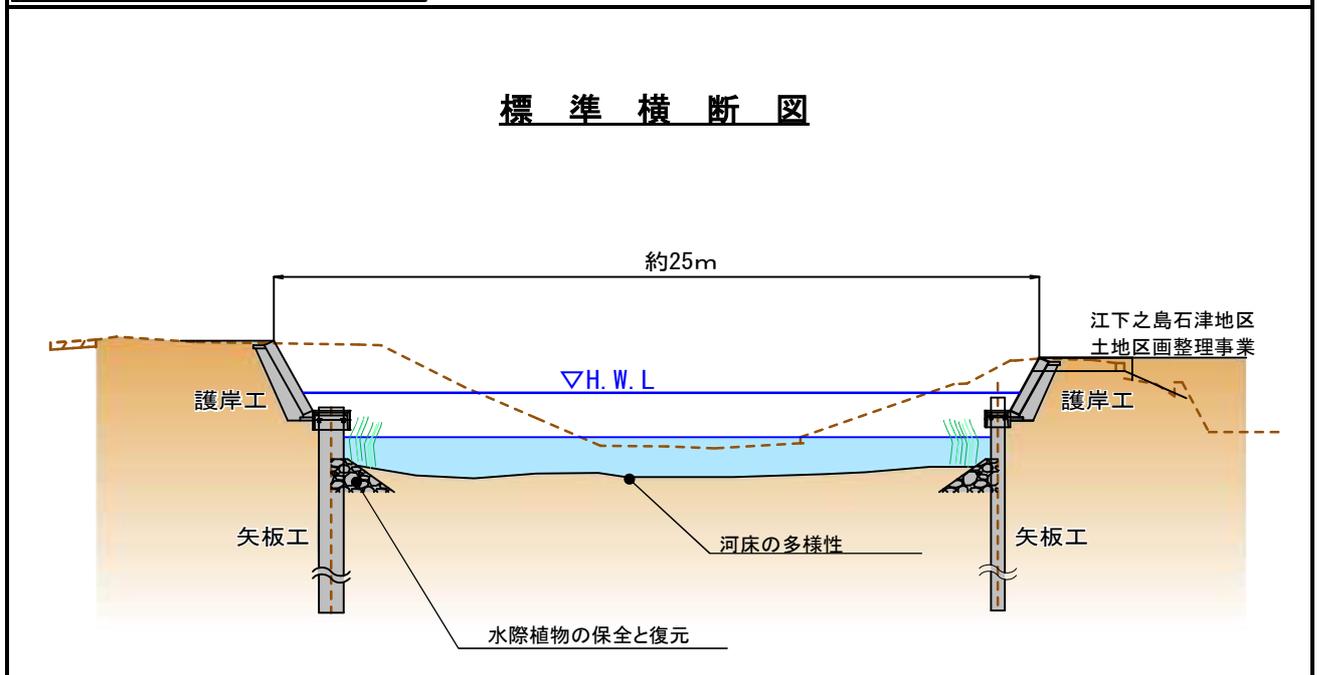
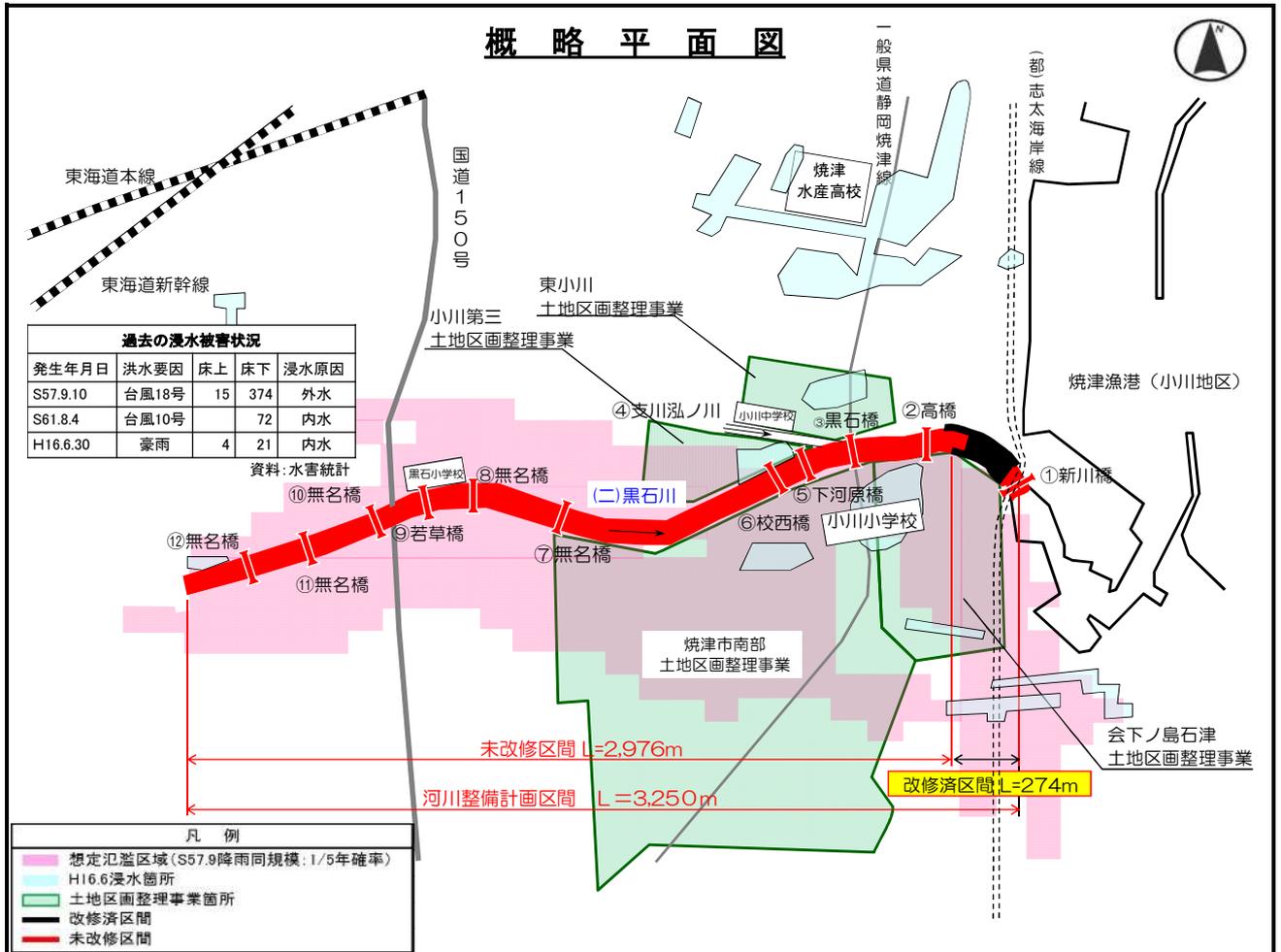
- 凡例
- 想定氾濫区域(S57.9降雨同規模:1/5年確率)
  - H16.6浸水箇所
  - 流域界
  - 土地区画整理事業箇所
  - 事業区間

過去の浸水被害状況				
発生年月日	洪水要因	床上	床下	浸水原因
S57.9.10	台風18号	15	374	外水
S61.8.4	台風10号		72	内水
H16.6.30	豪雨	4	21	内水

資料:水害統計



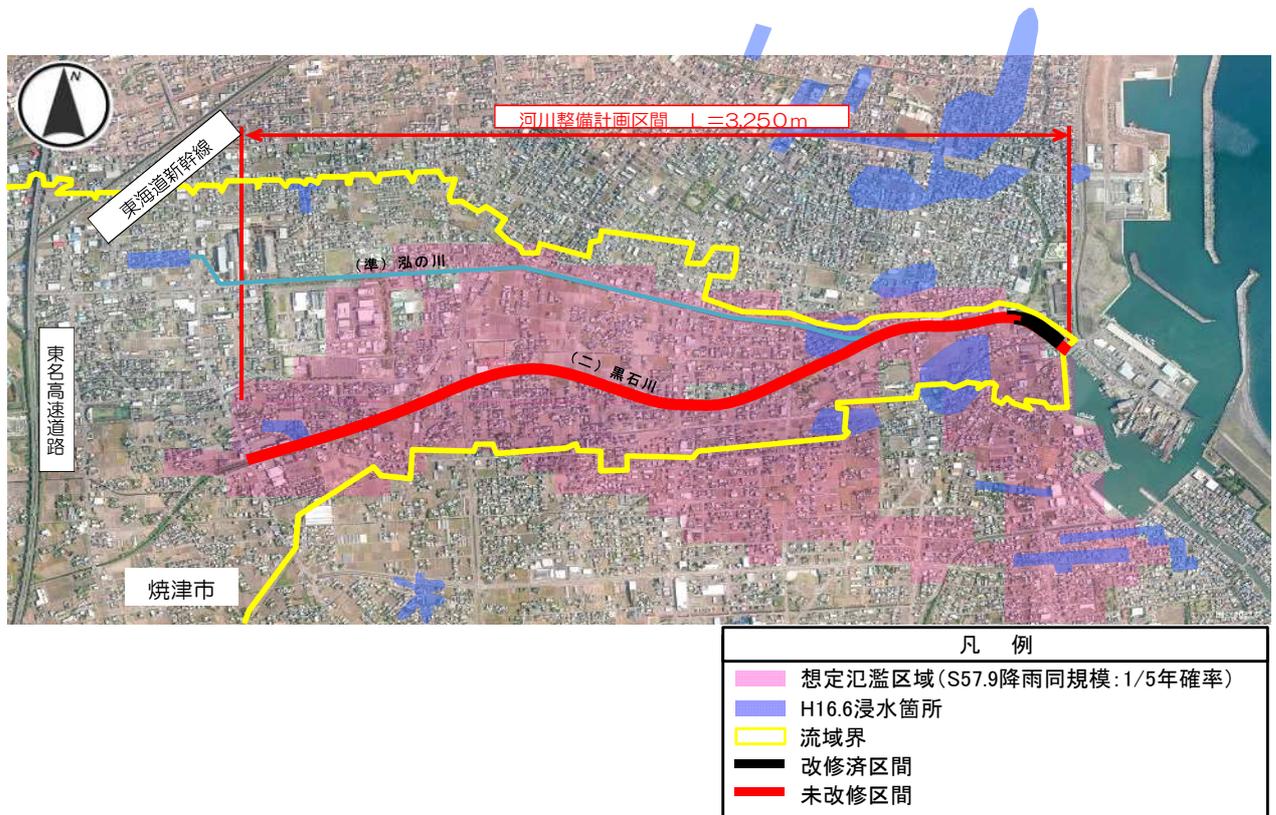
黒石川 流量配分図



### 前回からの変更点・理由

	前回 (H29)	今回 (R4)	主な変更理由
①計画期間	H22 ~ R11	H22 ~ R19 (+8年延伸)	・橋梁架替に伴う迂回路等の地元調整や護岸工の仮設工法見直しによる工事期間の延長に伴い、計画期間が増えた。
②全体事業費	6,348百万円	6,348百万円 (変更なし)	-

## 航空写真



## 浸水被害の状況



## 改修区間の状況



## 未改修区間の状況

